

おかもと陽子通信

2015年1月 第9号



(12月議会)

守りたい! あなたのいのち、生活を!!

発行) 宗像市議会議員 岡本陽子

自宅 福岡県宗像市自由ヶ丘 7-6-1

TEL/FAX (0940) 25-5344

ホームページ <http://www.okamoto-youko.jp/>

メール info@okamoto-youko.jp



ご意見・ご要望はホームページからも投稿できます。

何でもお気軽にご相談ください。



わかりにくい制度と言葉

どう変わる? 介護保険制度

一般質問 : 市民力活かす地域包括ケアシステムの構築を!!

●地域包括ケアシステムという名称はよく耳にするが一体どういうしくみであるかを市民が理解できているか? その運営のための体制(医療、介護のための体制づくり・地域づくり・人づくり)はどうするのか?

介護保険の要支援1, 2に当てはまる方の要支援切りではないかという捉え方をしている方もいる。要支援高齢者の地域支援事業に移行されることへの周知は、介護に関わるケアマネージャーへの説明を行った後 住民への周知、徹底をはかっていく。病院、施設に依存せず、住民中心に必要なケアが受けられる体制づくりのため、地域包括支援センターの機能を強化すること、他機関との連携がとれるよう基盤を整備していくと執行部より答弁があった。

●認知症対策として福岡県公幾で徘徊高齢者捜してメール配信開始したが、市と警察との連携をどうしているか?

認知症に該当する方、その家族からの登録依頼は0件である。警察との連携は行っている。福岡県広域で探す側のメール登録はしている人が多いものの、自分の家族が徘徊し行方不明になった際、どこに連絡したらよいか迷っている家族はいる。こうした制度があることを広報紙等に掲載しても一方的な伝達になっている場合がある。とくに認知症に該当する方への周知徹底ができるようお願いしたいと要望した。

●平成26年5月~6月に実施した高齢者実態調査結果報告書の結果を介護にどう活かすのか?

元気で長生きを支援するための高齢者の健康、介護に陥りやすい病気など具体的なことを理解できた。これを介護予防の視点で活かしていくと執行部より答弁があった。

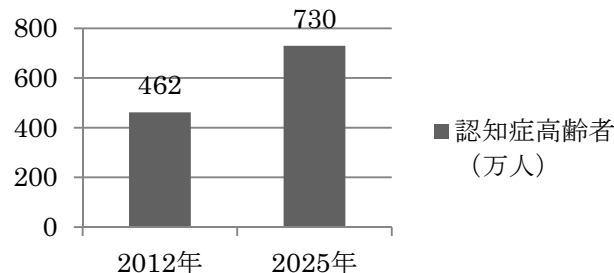
●要支援者へのサービスを市町村事業に移すことによって、本市の介護予防給付の財源確保はどうするのか?

介護予防に関する予算の確保は本市の地域包括ケアシステムに大きな影響を与える。できるだけ早期に財源確保に関して、情報が得られるよう努めると市長より答弁があった。

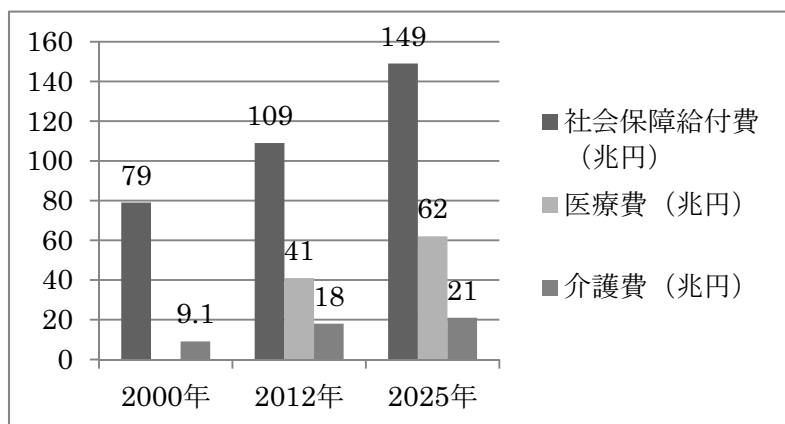
求められる認知症対策

厚労省推計、2025年には65歳以上の5人に1人が認知症

認知症高齢者の推計



介護現状の課題 増え続ける社会保障費



認知症、がんなどの病気にかかりやすく、要介護状態になる可能性の高い75歳以上の後期高齢者に団塊の世代が移行すること、医療の高度化により医療費の増大が加わることが理由。

厚労省は認知症になっても自宅で住み続けられる環境整備に乗り出した。看護師らが認知症の疑いのある高齢者の自宅を訪問し早期発見する初期集中支援チームを2017年度までに全ての市町村に設置する方針を出している。

高齢者が住み慣れた地域(在宅)で、医療や介護、住まい、生活支援を行政や医療、介護の関係者だけでなく幅広く住民も参加・協力する

地域包括ケアシステムの準備が必要となっている。

市民のニーズは？総合スポーツセンター（仮称）建設の課題と問題点を考える

少子高齢化、人口減少が見込まれる中、議会においても本市にとって何が必要であるかを選択することが重要である。30年先の公共施設の再配置や古くなった建築物、橋梁などの維持更新計画を行うアセットマネジメント推進計画がある。そうした現状の中、総合スポーツセンターの建設に関してその規模、現存する3体育館をどうするか。これまで多くの議論が成されている。市民にとって本当に必要な施設か、民意が反映されているかを問う市民の声もある。

【平成27年度～36年度宗像市スポーツ推進計画の策定】

教育関係機関の代表者（1名）、有識者（6名）スポーツ関係団体の代表者（8名）の計15名で構成、審議。その中で既存3体育館廃止と総合体育館の建設を策定。



市民体育館



勤労者体育センター



玄海 B&G 海洋センター



総合スポーツセンター（仮称）建設予定地宗像ユリックス多目的グラウンド

【市長の施政方針】平成26年6月議会

スポーツ施設の整備については、その方針をまとめ、総合スポーツセンター（仮称）の基本構想、基本計画を策定するとした。その予算として1,200万が予算計上され議会で可決。

【総合スポーツセンター（仮称）に関する審議会、議会の特別委員会を設置、そこで取り上げた課題と問題点】

会の名称	設置目的	取り上げた課題と問題点
アセットマネジメント推進計画策定審議会 (平成26年9月設置)	30年先の公共施設の再配置や維持更新計画を策定する	アセット審議会とスポーツ審議会との議論は整合性を持つ必要があるが、12月22日時点でアセット審議会ではスポーツ施設の統廃合等については結論を出していない。
総合スポーツセンター整備審議会 (平成26年9月設置)	総合スポーツセンターの規模や内容について審議する。	規模や内容等については結論を出していない。
議会特別委員会 (平成26年9月設置)	検討が進められている総合スポーツセンター（仮称）が、市民のニーズを十分に加味した施設となるよう議会独自の調査機関として設置	利用団体の意見集約や住民の意向を丁寧に聞くことが重要である

公明は、衆院選の比例・九州沖縄ブロックで“4議席”を獲得！ 小選挙区(9人)も含め35議席(比例区26人)

第47回衆院選（比例区＝九州・沖縄ブロック）の結果（2014年12月14日執行）

支援者の皆さまのおかげで公明党は九州沖縄比例ブロック（定数21）において4議席（江田康幸＝前⑥、遠山清彦＝前③、濱地雅一＝前②、吉田宣弘＝新①）を獲得することができました。多くの皆さまに御礼申し上げます。（丸数字は当選回数）

	公明	自民	民主	維新	共産
宗像市	5,482	13,937	6,321	6,829	5,139
福岡4区	32,010	55,995	23,306	31,026	17,817
福岡県	384,611	651,790	314,357	268,430	204,164
九州沖縄	1,033,424	2,001,264	944,093	756,029	532,454
議席数	4名	8名	3名	3名	2名